

令和3年度  
事業報告書

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会

# 令和3年度氷見市社会福祉協議会事業概要

★…令和3年度新規事業 ◆…重層的支援体制整備事業

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
総務・企画課	法人運営	市社協役員会・委員会の開催	理事会、監査会、評議員会等を開催し、市社協の運営について協議する。その他、専門部会及び各種委員会を設け、より専門分野について協議した。	○		
		市社協役員研修会の開催	市社会福祉協議会の使命と役割について、役員間の情報共有を目的に研修を開催する。	○		
		市社協会長表彰・かがやき賞授与、感謝状贈呈式典	地域福祉活動・ボランティア活動実践で顕著な功績があった団体・個人を表彰するとともに、先駆的且つ模範（モデル）的な活動実践を行った団体・個人にかがやき賞を授与した。併せて寄附における感謝状を贈呈した。	○		
		★地域福祉計画推進計画の策定	市が策定する第4次地域福祉計画に基づいて推進する事業のうち、本会が担う部分の具体的な推進策をまとめ、それを推進するための組織の基盤強化計画を策定した。	○		
	地域福祉研修センター	地域福祉研修センター氷見の運営	氷見の地域福祉実践の検証と地域住民、専門職の取り組みについて検討することをねらいに、県内・県外の福祉専門職を対象とする研修企画、福祉系大学の専門職養成の実習と医療、教育関係者の実習の受け入れ及び視察の受け入れについて、実地・リモートによる手法を組み合わせ、実施した。	○		○
		介護サービス従事者研修の開催	市内の介護サービスに携わる職員の資質向上を目的に各種研修会を開催した。	○		○
		介護講座の開催	高齢者、障害者介護を地域社会全体で支え合えられるよう、地域住民に介護に関心を持ってもらう機会を提供し、介護知識や技術の習得を目的に開催した。	○		○
		都城市社協人事交流職員育成事業	職員の育成並びに新たな地域福祉実践プログラムの開発、研究に取り組むため、都城市との情報交換、事例検討会を開催した。	○		
		市社協職員研修の開催	社協職員の資質向上を目的に各種研修会を開催した。	○		
		福祉専門職養成実習の受け入れ	県内外の福祉専門職養成学校等における社会福祉士、介護支援専門員の実習を受け入れた。	○		
その他	★第4次地域福祉計画策定事業	地域福祉推進を市とともに担う立場として、市で策定する第4次地域福祉計画の策定作業の一部を担い、計画策定に取り組んだ。		○		
地域福祉・ボランティア推進課	その他	いきいき元気館の運営・管理（指定管理者制度）	子どもから高齢者まで、幅広い世代の市民が健康やいきがいのために交流する場の運営・管理を行った。		○	
	地域福祉活動の推進	地域福祉総合相談→ほっとねっと社協	市民のあらゆる悩みごとの相談に応じ、必要に応じ関係機関と連携し、市民の生活課題の解決に向けての支援を行った。	○		
		地区社会福祉協議会連絡会議の開催	市内21地区社協の取り組みの紹介や各地区で抱えている課題やニーズなどの情報交換を行った。（7月、11月、2月）	○		
		地区社協トップセミナー	地区社協の役員を対象に、地区社協の役割理解の共通認識を深めることと、今後の地区社協のあり方などを検討する研修を企画した。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次年度に延期）	○		○
		ふれあいコミュニケアネット21事業	21地区社協を単位として、シルバー談話室等の集合型地域福祉活動と地域住民による個別支援活動（ケアネット活動）を通じて、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めた。	○		○
		地域ボランティア活動の支援	職員のエリア担当制を生かし、地区社協や小地域で行われるボランティア活動などの地域福祉活動が活発化するよう支援した。	○		○
		生活支援サービス車両提供事業	買い物支援や移動支援を実施する地区社協へ車両の貸し出しを行うと共に、老人休養ホーム寿養荘の利用者、特に送迎利用者も同様の支援が必要と考えられることから、寿養荘利用者を対象としたショッピングセンター等への送迎を行った。	○		○
		災害時要援護者支援体制支援の整備 災害時要援護者支援事業	各地区社協単位で、災害時（避難活動時）に何らかのサポートを必要とする人を「いのちのバトン設置普及活動」を通し把握を進めた。また、名簿の作成・更新は、災害時要援護者情報把握・共有システムを活用し行った。	○		○
		福祉・防災マップ等作成事業（原子力防災マップ等作成事業）	日頃の隣近所の支え合いの強化の一環として、住宅地図を活用し、福祉（1人暮らし高齢者や障害者等の情報）と防災（避難所や災害時の危険箇所等の情報）の情報を集約するマップの作成、福祉情報から災害時避難支援が必要な人の優先順位と支援方法、支援協力者リストの作成を行った。		○	
		◆氷見市安心生活創造事業	住民のニーズに対応するため、地区社協等における生活支援サービス（買い物や移動等）の検討・実施、対象を限定しない居場所（拠点）づくりに関わる取り組みの支援を行った。また、地域住民の生活上の困りごとなどの相談を受け止め、地区社協や民生委員児童委員、行政や社協などの関係者へつなげる役割を担う「地域福祉活動サポーター」の育成を行った。		○	
★◆参加支援事業	社会的に孤立している（する可能性のある）市民や引きこもり等で社会から一定期間離れている市民を対象に、本人の居場所や将来的な就労を視野に入れた就労体験等を創出し、社会の一員として役割が持てるよう、地域や民間企業等と連携する。		○			
◆第1層生活支援コーディネーター設置事業	市全域を活動エリアとする第1層生活支援コーディネーターを1名配置し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートをを行った。		○			

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
地域福祉・ボランティア推進課	ボランティア・市民活動の促進	ボランティア総合センターの運営	地域福祉活動、ボランティア・市民活動の普及・促進を目的に、ボランティア活動者支援、ボランティアコーディネート、ネットワークの構築、ボランティア情報発信、活動プログラムの開拓、出張講座、NPO法人設立支援、各種ボランティア調査を行った。	○		○
		ボランティア・市民活動相談→ほっとねっとボラセン	地域福祉活動、ボランティア・市民活動に関する相談に応じ、専門機関と連携を図りながら解決に向けた支援を行った。	○		○
		ボランティア活動保険普及事業	ボランティア活動者が安心して活動できるための保険の紹介と加入受付、保険請求事務を行った。	○		○
		ボランティア寄付の普及・管理・運用	誕生日ボランティア寄付やボランティア寄付の普及を図り、各種寄付の受付を行った。	○		○
		★ボランティアイベントの開催（出張ボランティアセンター）	ボランティアのすそ野拡大のため、ボランティア活動・団体に関する情報やボランティア体験の提供、気軽に取り組める活動の紹介を行った。また、活動者や団体が交流する場や日頃の活動成果を披露する場を設けることで、活動に対する意欲を高め、今後の市内ボランティアの活性化を図ることを目的に実施した。	○		○
		テーマ型ボランティア育成講座の開催	音訳ボランティアグループなみの会が、視覚障害者へ生活に必要な情報を音訳などをおし届けているが、会員の高齢化や会員減少の現状があったことから、次代の音訳活動の担い手育成を目的に養成講座を行った。	○		○
		ボランティア・チャレンジ・プログラムの実施	新型コロナウイルスのため、未実施	○		○
		福祉教育推進体制の整備	氷見高校の課題探求型授業「HIMI学」において、氷見市の「福祉」や「ボランティア」、「共生」などをテーマ設定しているクラスや生徒に対して、情報の提供や企画の協働作業を行い、出張講座を行った。また、福祉教育をイメージしやすくするための具体的なプログラムについて検討した。	○		○
		福祉教育地域指定事業	氷見市ならではの地域ぐるみの福祉教育の実施を目指し、関係者との情報交換、互いの意識共有を図る為の検討会を開催し、モデル地域内で実施した。	○		○
		地域サロン等活動支援事業	地域ボランティアによって、開催されているサロン活動の活性化と身近なたまり場づくりを支援するため、レクリエーション資材の貸し出しを行った。	○		○
		遊休品バンクEくすちゃーEかすちゃーの実施	一般の市民や企業、福祉事業所等から寄付として受け付けた物資を生活困窮者や災害被災者など、緊急的に支援が必要となった市民に対して、必要最低限の食料品や衣類等生活用品を提供した。	○		○
		ボランティア総合センター運営委員会の開催	運営委員によるボランティア総合センター事業の分析・評価を行い、市民のニーズを的確に捉えた運営を行うために運営委員会を開催した。（7月、12月、3月）	○		○
		施設ボランティア担当者連絡会の開催	ボランティアを受け入れる福祉施設や関連施設等の担当者を対象に、先進的な県内施設の取り組みを参考に、SNS等を活用したボランティア活動の充実に向けた取り組みについて意見交換し、受け入れ側のコーディネート力を高めた。	○		○
災害救援ボランティアセンター整備事業（災害ボランティアネットワークの組織化）	氷見市と災害の福祉・ボランティア活動に関する協定を結び、より円滑に被災者支援を行うことができる体制を整えた。災害救援ボランティアセンターの設置に備えた関係機関との情報共有、センター備品の整備を継続して実施した。	○		○		
こども支援課	乳幼児・児童福祉	児童館の運営（指定管理者制度）	遊びや行事を通して、児童の健全な育成と豊かな情操を養うための支援を行った。また、氷見市の児童健全育成活動の拠点となるよう地域社会及び児童福祉関係機関等との連携に努めた。感染症対策を徹底しながら、親子でふれあい体験ができる活動（釣り・野外炊事）を行った。			○
		地域子育て活動支援事業	地域における子育て支援環境の向上のため、地域の拠点に出向き、遊びの提供をしたり、運営上の相談に応じたりする等の支援を行った。また、放課後児童健全育成事業やさんさん広場、子ども食堂などの運営に関する相談や支援を行った。コロナ禍の中、経済的に困窮に陥っている家庭を早期に把握し、適切な支援へとつなげるために、食材の提供を行った。	○		
		ファミリー・サポート・センター事業	保護者の緊急時、乳幼児の一時預かりを社会福祉会館等で行った。また、地域での子育て支援を行い、児童福祉の向上を図った。	○	○	
		事業所内保育所の運営	事業所の従業者や一般就業者の仕事と子育ての両立支援をすると共に働きやすい環境整備の一環として乳幼児保育を行った。		○	
		乳幼児・子育て悩み相談→ほっとねっときらら	乳幼児を持つ親を対象に、家庭、地域における生活上の悩みごとの相談に応じ、専門機関との連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○		
		学童保育サービス（放課後児童健全育成事業）	日中家に保育する者がいない小学生を対象にした児童の預かりを行った。		○	
		子ども・子育て悩み相談→ほっとねっと児童館	子どもや子育て中の親を対象に、学校・家庭・地域における生活上の悩みごとの相談に応じ、専門機関との連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○		
		子育て支援スタッフ育成・発掘事業	地域ぐるみで子育てをする環境づくりを進めるため、子育て支援現任者のほか、子育てに関心のある者等を対象とした研修を実施することで、子育て支援ボランティアを発掘・育成し、地域における多様な子育て支援の充実を図った。			○
★こどもホームデリ	経済的に困窮する家庭の生活を支えるため、家庭で余っている食品や、団体・企業等で様々な理由により販売できない食品等を寄付していただき、必要な方へ食品等を提供した。潜在的に生活困窮に陥っている家庭を早期に把握し、適切な支援へとつなげることができた。	○		○		
学習・生活支援事業	貧困の連鎖を防ぐため、生活困窮世帯及び生活保護受給世帯等の概ね小学校5年生から高校3年生を対象に、居場所を設け、生活する力の習得や学習意欲の向上を図った。（生活困窮者自立支援制度内任意事業）			○		

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
高齢者支援課	高齢者福祉サービス	老人介護ホーム寿養荘の運営・管理 (指定管理者制度)	高齢者等に介護の場を提供し、高齢者等の心身の健康の保持を図った。		○	
		高齢者グループリビングの運営	自宅での生活が困難な低所得の一人暮らしや高齢者世帯の方を入所対象とし、スタッフの見守りと共同生活によって安心して生活が送れるようにした。	○		○
		ほっとヘルプサービス事業 (制度対象外のホームヘルプサービス)	公的サービスでは自立が困難な場合、家族に代わってホームヘルプサービスを有料で行った。	○		
		日常生活用具貸出サービス (介護保険対象外)	介護保険適用外の高齢者や障害者等に必要な福祉用具を貸し出した。(特殊寝台【電動・手動】、車いす、床ずれ防止用具)	○		
高齢者支援課	介護保険事業	総合事業・居宅介護支援事業	要支援や要介護認定者の居宅サービス計画の策定及び連絡調整を行った。	○		
		総合事業・訪問介護事業	要支援や要介護認定者にホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活の世話をを行った。また、寝たきりや車椅子利用の方が安心して通院できるように送迎サービスを行った。	○		
		介護予防・訪問入浴介護事業	自宅で入浴が困難な要介護認定者に、入浴車が家庭に出向き、特殊浴槽において入浴の介助を行った。	○		
		総合事業・地域密着型通所介護事業	要支援や要介護認定者に介護予防、自立支援などの目的を持って、送迎、健康チェック、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを施設にて提供した。	○		
		福祉用具貸与事業	要支援や要介護認定者に福祉用具(特殊寝台、特殊寝台付属品、車いす、車いす付属品、床ずれ防止用具等12種類)の貸し出しを行った。	○		
障害者福祉サービス	障害者福祉サービス	障害者訪問入浴サービス	在宅の障害者に対して、特殊浴槽を利用し自宅での入浴の機会を提供すると共に、介護者の介護負担の軽減を図る。		○	
		障害者ホームヘルプサービス	常時介護を必要とする在宅の身体障害者に身体介護、家事援助、外出時における移動中の介護を行い、障害者の自立支援及び家族の介護負担の軽減を図る。	○		
障害者支援課	障害者・者福祉サービス	障がい者一般相談支援事業 →ほっとねっと我家	専門の相談員が身体、知的、精神障害児(者)やその家族の相談に応じ情報提供をしたり、問題解決のための調整を行った。		○	
		障がい者特定相談事業 (旧障害者ケアマネジメントサービス)	在宅の障がい者の生活全般にわたるサービス等利用計画を作成し、より自立をした在宅生活ができるよう支援した。	○		
		指定障害児相談支援事業	在宅の障害児の生活全般にわたるサービス等利用計画を作成し、より自立をした在宅生活ができるよう支援した。		○	
		共生型障害者デイサービス	在宅の身体障害者が、生きがいを持って自立と社会参加ができるように通所による、生活指導、健康チェック、入浴、リハビリなどのサービスを行った。	○		
		共生型障害児デイサービス	障害児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行い、障害児の主体性や社会性を育成した。	○		
		障害(児)者等通所入浴サービス	心身の障害や環境の障害のため、デイサービスや訪問入浴サービスの利用が困難な場合に、施設への送迎を行い、専用の浴槽を利用し入浴の機会を確保した。	○		
ふくし相談サポートセンター	生活困窮者自立支援	◆生活困窮者自立相談支援事業	経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯を対象とした相談支援業務により、従来の福祉分野を超えた多職種で支援するためのマネジメント及び就労に向けた環境整備等を行った。		○	
		家計改善支援事業	収入(賃金や公的年金等)と支出のバランスが崩れることによって様々な生活課題を抱えている生活困窮世帯等を対象に、家計状況を整理するなど、収入と支出のバランスが保たれるよう支援を行い、関係する生活課題の解決を図った。*生活困窮者自立支援制度内任意事業		○	
		学習・生活支援事業	再掲(こども支援課と協働で実施)		○	
		★アウトリーチ等の充実による自立相談支援の機能強化事業	社会参加に向けてより丁寧な支援を必要とする方に対し、一人ひとりが抱える課題に応じた就職支援の充実や職業的自立の促進、生活支援の充実等により社会の担い手として活躍できるよう支援を行った。*生活自立支援制度内事業		○	
		生活困窮者等緊急生活支援事業	生活困窮者や緊急的な支援が必要な世帯を対象とし、必要最低限の食料品や衣類等生活用品の提供、住まい応急的な補修・環境整備に要する資材の提供等、衣食住に対する支援に備えた。	○		
ふくし相談サポートセンター	障害	◆基幹相談支援事業	障害児・者に対応する相談支援事業所が抱える困難ケースへのアドバイス及び介入をはじめ、人材育成・各機関とのネットワークづくりや市民の障害に対する理解促進及び当事者の権利擁護体制の構築等の環境整備を行った。		○	
		多機関の協働による包括的支援体制構築事業	多機関協働マネージャーを配置し、対象を限定せずすべての市民の福祉に関わる相談に対応すると共に、地域や包括的相談事業(地域包括支援センター、困窮、基幹、子育て世代包括等)が把握した「社会的孤立者」等の支援について、地域、専門職、行政が円滑に連携し支援できるようコーディネートを行う。また重層的支援会議等、各種会議を通して支援体制の強化に関する取り組みを行った。		○	
		アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	社会的孤立状態(陥る可能性のある世帯)を早期に発見し、関係者へつなげる担い手(地域福祉活動サポーター)や地区内での相談を受付ける場(地域なんでも相談)と連携し、該当する世帯への訪問活動を通じて、地域生活課題を解決するための支援へとつなげるアウトリーチ支援員を配置し、セーフティネットの強化を図った。		○	
		各担当部署◆印事業	◆事業参照			○
福祉サービス利用支援	福祉サービス利用支援	日常生活自立支援事業	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等判断能力が不十分な人が、安心して日常生活を送ることができるよう利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。		○	
		成年後見制度利用の支援	判断能力が不十分な人(認知症、知的障害、精神障害のある方)を対象に、財産管理や法律行為(契約や財産分割)を行うための成年後見制度の利用支援を図るため、呉西地区成年後見センターや他事業所と連携し、相談援助を行った。	○		
		生活福祉資金貸付事業	失業者世帯、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象とする生活福祉資金の相談援助を行った。令和3年度においても引き続き、新型コロナウイルス感染症における特例貸付が実施され、休業、廃業等で収入減少した世帯への資金の貸付と必要な相談援助を行った。		○	

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
ふくし相談サポートセンター	福祉サービス利用支援	日常生活自立支援事業	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等判断能力が不十分な人が、安心して日常生活を送ることができるよう利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。		○	
		成年後見制度利用の支援	判断能力が不十分な人（認知症、知的障害、精神障害のある方）を対象に、財産管理や法律行為（契約や財産分割）を行うための成年後見制度の利用支援を図るため、呉西地区成年後見センターや他事業所と連携し、相談援助を行った。	○		
		生活福祉資金貸付事業	失業者世帯、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象とする生活福祉資金の相談援助を行った。令和3年度においても引き続き、新型コロナウイルス感染症における特例貸付が実施され、休業、廃業等で収入減少した世帯への資金の貸付と必要な相談援助を行った。		○	
プロジェクトチーム		災害・リスクマネジメントPT	災害時の行動計画の策定や運営体制の確認など、大規模災害にも対応できる体制づくりを目指す。また、法令順守と苦情の共有などを通しリスクの抽出を行い、リスクマネジメントの習慣を身に付けるための取組みを継続した。	○		
		人材育成PT	総合相談支援システムの一層の充実と組織としての機能向上を目指し、市社協事業の全体像を意識した人材育成に向けた検討・取組みを行った。	○		
部会		職員のエリア担当制の実施	職員でチームを作り、それぞれ担当地域へ入り込み、地域住民と共に生活ニーズの把握・解決のための支援を行った。	○		
		広報「ひみのふくし」の発行・充実	地域福祉の最新情報など市民が求めている情報の提供を行った。（毎月1回、全戸配布）	○		

# 事業活動の概要

## I 総務企画課

### 1. 法人運営

#### (1) 役員会の開催

開催日	会議名	出席者	協議事項
6月7日	監査会	2名	令和2年度事業報告について 令和2年度収支決算について
6月10日	第5回理事会	12名	議案第18号 令和2年度事業報告について 議案第19号 令和2年度収支決算について 議案第20号 次期役員候補者について 議案第21号 次期評議員評議員候補者について 議案第22号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第23号 令和3年度定時評議員会の招集について 議案第24号 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について
6月14日	第1回評議員選任・解任委員会	4名	議案第1号 評議員の選任について
6月30日	定時評議員会 (書面決議)	19名	議案第18号 令和2年度事業報告について 議案第19号 令和2年度決算報告について 議案第20号 任期満了による次期役員の選任について
7月1日	第1回理事会	14名	議案第1号 会長、副会長、常務理事の選定について
3月24日	第2回理事会	8名	議案第2号 令和4年度事業計画及び予算について 議案第3号 給与規定の一部改正について 議案第4号 就業規則の一部改正について 議案第5号 臨時従業員就業規則の一部改正について 議案第6号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 議案第7号 令和4年度役員等賠償責任保険契約について 議案第8号 令和3年度評議員会の招集について
令和3年度	第1回評議員会	16名	議案第1号 令和4年度事業計画及び予算について

開催日	会議名	出席者	協議事項
12月23日	表彰選考委員会	6名	市社協会長表彰、市社協会長感謝状の贈呈予定者について

#### (2) 会長表彰、かがやき賞、感謝状贈呈式の開催

2月6日	会長表彰	個人10名、1団体
	かがやき賞	1団体
	感謝状	2団体

#### (3) 広報「ひみのふくし」の発行

発行月	特集ページ	他内容
4月	市社協事業紹介(生活支援サービス車両提供事業)	ボランティア団体紹介、介護保険事業所紹介、地区社協紹介 他
5月	ボランティア活動啓発(地域の商店最後のオープン! 商店でE☆バザー開催)	災害協定締結、介護保険事業所紹介、脳トレ道場 他
6月	地域福祉活動紹介(花の里くまなしウォーク)	エリア担当紹介、子育て家族応援講座募集 他
7月	ボランティア活動啓発(音訳ボランティアなみの会)	音訳ボランティア講座募集、介護保険事業所紹介、地域共生社会啓発、予算 他
8月	市社協事業紹介(ふくし相談サポートセンター)	地域共生社会啓発、介護保険事業所紹介、出張ポラセン告知、決算報告 他
9月	市社協事業紹介(施設ボランティア担当者連絡会)	福祉と防災連携紹介、介護保険事業所紹介、相談会開催告知、市社協会費 他
10月	地域福祉と防災(災害からいのちを守る行動を(8月13日の豪雨を振り返って))	地域共生社会啓発、共同募金運動 他
11月	市社協事業紹介(福祉教育の取り組み)	地域共生社会啓発、介護保険事業所紹介、共同募金紹介、ボランティア総合センターSNS 他
12月	社会福祉啓発(障害者週間インタビュー)	こども食堂紹介、NPO法人紹介、県社会福祉功労者表彰 他
1月	地域福祉と防災(いのちのバトン)	赤い羽根共同募金レポート、介護保険Q&A、地区社協紹介 他
2月	地区社協活動紹介(明和地区社協めいわふらっと)	赤い羽根共同募金レポート、介護保険利用者の声、ボランティア団体紹介、中央共同募金会会長表彰、相談会告知 他
3月	市社協事業紹介、地域福祉活動紹介(ホームデリ、こども食堂、フードドライブ)	市社協会長表彰、赤い羽根共同募金レポート、自閉症啓発デー、介護講座募集、ボランティア活動保険 他

## 2. 地域福祉研修センター氷見

地域福祉実践の検証と地域住民、専門職の連携について検討することをねらいに、各種研修を開催し、地域福祉活動の向上を図った。

コロナ禍において対面での研修が困難な状況下、当初計画どおり実施できない事業もあったが、非対面型研修環境の整備により、研修機会の確保に努めた。

### (1) 介護サービス従事者研修の開催

開催日	内 容	社協内	他事業所	合計
5月19日(水)	重層的支援体制整備事業～地域共生社会の実現を目指して	18	0	18
1月12日(水)	健康講習会～コロナ渦でのメンタルヘルス、ストレス解消法を学ぼう！～	17	2	19
2月16日(水)	感染症を知り的確な予防方法を再確認しよう！	27	4	31
3月23日(水)	音楽の力を生かしたレクリエーションを学ぼう！	13	5	18
参加者合計		75	11	86

新型コロナウイルス感染症の影響で計画の一部のみ開催。

### (2) 介護講座の開催

家庭や地域で高齢者や障害者の自立支援に役立てることを目的に実施

開催日	内 容	参加人数
3月3日	介護保険制度や地域の支え合い活動について	23
3月10日	高齢者の心理を理解しよう～アドラー心理学～	32
3月17日	認知症の方への対応について学ぼう！	30
合計延べ人数		85

### (3) 氷見市社協職場内研修

開催日	内 容	参加人数
10月11日・12日・14日	社協職員基礎研修	8
9月1日 9月7日	重層的支援体制整備事業人材養成研修	20
5月17日 7月19日 8月31日 10月7日	地域福祉計画策定研修 社協地域福祉推進計画策定研修	60
1月20日	県社協地域福祉実践研究発表会事前検討会	10
9月13日 11月11日 2月22日	事例検討会Vol1～Vol3 (2・3回目は都城市社協と合同)	15 13 22

### (4) 現場実習受入れ

#### ① 社会福祉士資格取得実習

実習期間	実習生所属先	人数
10月18日～ 11月5日	立教大学	1人

#### ② 介護支援専門員実務研修

実習期間	実習生所属先	人数
1月27日	富山県	1人

### (5) 職員派遣

派遣日	派遣先
6月17日	富山県自立支援協議会 圏域アドバイザー派遣事業
7月29日	重層的支援体制整備事業担当者研修(リモート撮影)、石川県地域福祉計画策定研修(リモート)
7月30日	ケアネット活動コーディネーター研修
7月31日	富山県身体障害者協会 富山障害フォーラム
7月31日	富山障害フォーラム
8月3日	生活支援コーディネーター養成研修
8月4日	富山県地域福祉計画セミナー
8月19日	石川県地域福祉計画担当者研修
8月19日	富山県自立支援協議会 圏域アドバイザー派遣事業
8月26日	富山県市町村社協事務局長研修(リモート)
9月15日	相談支援従事者指導者養成研修
9月23日	生きがい・助け合いサミットin神奈川(リモート)
9月27日	大阪府内社協地域福祉推進担当課長・職員研修(リモート)
9月28日	東海・北陸ブロック市区町村社協研究集会



派遣日	派遣先
10月10日	日本福祉大学通信教育部講義(リモート)
10月12日	富山県社協地域福祉振興計画策定委員会
10月22日 ～23日	富山県自立支援協議会初任者研修 補講 (県民会館)
11月1日	富山県自立支援協議会相談部会研修WG (リモート)
11月11日	南魚沼市社協ケアネット実践紹介
11月16日	東海・北陸ブロック社協職員研究集会(リモート)
11月18日	令和3年度 南魚沼なじもネット協力員研修会(リモート)
11月19日 12月2日	富山県相談支援専門員養成研修
11月8日 12月21日 1月27日	富山県相談支援従事者現任者研修
12月 2日	富山県社会福祉協議会創立70周年記念座談会
12月5日	日本福祉大学通信教育部講義(リモート)
8月19日	富山県自立支援協議会 圏域アドバイザー派遣事業
12月18日	日本地域福祉研究所冬の公開セミナー
1月14日	日本福祉大学通信教育講義
1月18日	北海道社協 法人役員会研修「コロナ禍における社協小地域福祉活動～地域特性に応じた地区社協の取組～」
1月24日	立教大学相談援助実習講義
2月 2日	宮崎県児湯郡社会福祉協議会実践紹介
2月17日	富山県自立支援協議会 圏域アドバイザー派遣事業
3月3日・4日	佐賀県社協 市町村社協役職員研修
3月16日	富山県社協地域福祉振興計画策定委員会

#### (6) 視察受け入れ

月 日	内 容	人数
4月 7日	高岡市(重層的支援体制整備事業)	2
4月28日	富山市(重層的支援体制整備事業・リモート)	3
6月30日	富山県経済同友会「引きこもり支援」	2
8月6日	黒部市社協「重層的支援体制整備事業」	2
11月19日	南砺市福野地域民児協・氷見市民児協の交換民協 「氷見市におけるケアネット活動」	32

#### (7) 都城市社協人事交流

相互人事交流は実施できなかった一方で、リモートによる合同事例検討会を令和2年度に続き、実施。それぞれの事例を協議し、お互いの資源の理解と支援方法の考え方について、学んだ。また、都城市社協職員の氷見市社協視察研修に合わせ特別人事交流研修を実施し、それぞれの福祉課題及び取組みについて共有・検討した。

月日	内容	参加人数(氷見市社協)
11月11日	合同事例検討会(リモート)	53(13)
12月15・16日	特別人事交流研修(氷見市内)	33(20)
2月22日	合同事例検討会(リモート)	64(22)



## II 地域福祉・ボランティア推進課

### 《地域福祉活動の推進》

#### 1. 地区社協連絡会議の開催

市内21地区社協の取り組みの紹介や各地区で抱えている課題やニーズなどの情報交換を行った。

日時	内容	出席地区数
7月12日(月)13:30～	R2市社協事業報告・決算、R3事業計画・予算について、他	20
12月3日(金)14:00～	地域における除雪支援体制について、第4次地域福祉計画について 他	20
3月1日(火)13:30～	専門職と連携した孤立予防について、第4次地域福祉計画について 他	20

#### 2. 地区社協トップセミナーの開催

地区社協の役員を対象に、地区社協の役割理解の共通認識を深めることと、今後の地区社協のあり方などを検討する研修を企画し実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染のため未実施。

#### 3. ふれあいコミュニティケアネット21事業

##### (1)ふれあい型事業

地区社協単位に、乳幼児から高齢者までを対象にしたさまざまな地域福祉活動を展開するとともに、地域の福祉向上を目的とした研修や広報による啓発を行った。

対象(内容等)	実施地区数	内容
乳・幼児	16	地区サークル支援、保育園の行事協力
児童	9	小学校や育友会等との連携による行事開催など
障害児・者	0	施設訪問、車椅子体験
高齢者	21	ふれあいランチサービス、シルバー談話室、配食サービス、高齢者の料理教室、敬老の集い、一人暮らし高齢者宅訪問など
世代間交流	1	三世代料理教室、三世代交流会など
広報活動	13	地区社協だよりを年1回～4回発行し、地域住民への福祉啓発を行った。
その他		各種研修(健康、生活関連)、福祉調査、地区福祉大会、県内地区社協との交流

##### (2)ケアネット型事業

地区社協単位に、1人(家族)で生活していくことが難しい乳幼児から高齢者までを対象に、地域住民が見守りや話し相手など、できることで支援し、関連する会議や研修を開催し、地域の見守りネットワークを構築・強化した。

##### (2)-①ケアネット活動実績

	2年度	3年度	前年度比
チーム数	886	864	98%
協力者数	1,946	2,001	103%
延活動回数	91,839	75,608	82%

##### (2)-②ケアネット活動内容

見守り、話し相手、買い出し、ゴミ出し、送迎、おすそ分け、地域行事への誘い出し等
---

##### (2)-③ケアネット関連研修・会議開催実績

	実施地区数	内容
研修	21	ケアネットの現状に関する専門的知識と今後のケアネットのあり方について、講師を招いたり、グループ討議をした。
会議	21	ケアネット当事者の情報交換と新たなニーズ把握について、協議した。(地区社協役員、民生委員、ケアネットチーム員等)

#### 4. 地域ボランティア活動の支援

市社協内でチームを作り、それぞれ担当地域へ入り込み、地域住民と共に生活ニーズや地域状況の把握とともに、地区社協や小地域で行われるボランティア活動などの地域福祉活動が活発化するよう、支援を行った。

##### (1)職員の延地域訪問回数

エリア名	延訪問回数		主な訪問内容
	令和2年度	令和3年度	
氷見エリア	117回	85回	総会、研修、安心生活創造事業、サポ研等
南條エリア	106回	206回	総会、研修、安心生活創造事業、サポ研等
上庄谷エリア	102回	213回	総会、研修、安心生活創造事業、サポ研等
灘浦エリア	106回	95回	総会、研修、安心生活創造事業、サポ研等
合計	431回	599回	
前年度比		139%	

#### 5. 生活支援サービス車両提供事業(買い物支援サービス)

買い物支援や移動支援を実施する地区社協へ車両の貸し出しとともに、老人休養ホーム寿養荘の利用者、特に送迎利用者も同様の支援が必要と考えられることから、寿養荘利用者を対象としたショッピングセンター等への送迎を行った。

車両提供分	区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
	回数	29	31	107%
	利用者数	289	229	79%
	サポーター数	45	42	93%
寿養荘 買い物支援分	区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
	回数	164	181	110%
	利用者数	815	942	116%
	平均人数	5.0	5.2	104%

## 6. 安心生活創造事業・セーフティネット強化事業

### (1) 要支援者の早期発見・把握機能の強化

地区社協単位で、災害時(避難活動時)に何らかのサポートを必要とする人の把握と支援体制整備を、「いのちのバトン設置普及活動」及び「福祉・防災マップ」の作成を通して進めた。

#### ①いのちのバトン設置状況

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実施地区数	21	21	—
設置人数	4,467	4,366	98%
一斉更新地区数	15	6	—
随時更新地区数		13	

#### ②福祉・防災マップ等作成状況

	UPZ圏内	UPZ圏外
新規地区	1地区(9集落) 速川(9)	1地区(10集落) 十二町(10)
	10地区(64集落) 稲積(4)、上庄(7)、明和(4) 久目(11)、余川(7)、基石(6) 八代(6)、藪田(3)、宇波(7) 女良(9)	2地区(17集落) 神代(6) 仏生寺(11)

令

### (2) 対象を限定しない生活支援サービスや居場所(拠点)づくり

住民のニーズに対応するため、地区社協等における生活支援サービス(買い物や移動等)の検討と実施、対象を限定しない居場所(拠点)づくりに関する取り組みの支援を行った。

#### ①令和3年度新たに実施された取り組み状況

地区名	実施内容
宮田	対象を限定しない居場所づくりとして、「はまなす・ほっとサロン」を実施。
上庄	対象を限定しない居場所づくりとして、3集落において実施。
明和	対象を限定しない居場所づくりとして、「めいわふらっと」を実施。
速川	生活に必要な情報や地域の情報をまとめた、「暮らしの便利帳」を発行

#### ②継続し実施している取り組み状況

	実施内容	実施地区
生活支援	対象を限定しない居場所づくり	朝日丘、東、稲積、久目 十二町、宇波、女良
	外出・移動の支援	朝日丘、仏生寺、宇波
	学習支援の場	久目
	多様な住民が参画できる地域福祉活動の実施	稲積、基石、女良

### (3) 地域における相談機能の充実を目指した取り組み

地域住民の相談や困りごと、情報提供などを受け止める「地域なんでも相談」の設置と、地域の支援や専門職等につなぐ仕組みづくりの支援を行った。

#### 「地域なんでも相談」実施状況

実施内容	地区
【常設型】 拠点・開催日を定め実施	4地区 朝日丘、東、稲積、久目
【行事併設型】 地域住民集う機会を活用し実施	10地区 加納、窪、宮田、十二町 神代、明和、余川、藪田 宇波、女良

### (4) 地域福祉活動サポーターの育成

地域なんでも相談や地域福祉活動に関わりながら、地域住民からの相談対応に応じる人材として、地域福祉活動サポーターの育成を行った。

#### ①新規育成研修の実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>育成研修の実施</li> <li>第1回:9月14日(火)10:00~12:00 講義「地域福祉活動サポーターに期待される役割」</li> <li>第2回:9月22日(水)10:00~12:00 講義「コミュニケーション・傾聴講座①」 講師 富山国際大学 教授 村上 満 氏</li> <li>第3回:9月27日(月)10:00~12:00 演習「コミュニケーション・傾聴講座②」 講師 富山国際大学 教授 村上 満 氏</li> <li>第4回:9月30日(木) 講義「地域福祉活動に関わる福祉制度について」</li> <li>地区内における育成研修を実施 阿尾地区:受講者6名 (市内サポーター総数:127名)</li> </ul>
---

#### ②フォローアップ研修の実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>市内4エリアにて研修を実施</li> <li>3月11日(金)氷見エリア:16名</li> <li>3月9日(水)南条エリア:25名</li> <li>3月11日(金)上庄谷エリア:8名</li> <li>3月12日(土)灘浦エリア:9名</li> <li>延べ参加人数:58名/127名(46%)</li> </ul>
---

## 7. 参加支援事業

参加支援コーディネーターを配置し、重層的(相談実績)支援会議で支援決定した要支援者に対し、必要な参加支援の場を提供できるよう、関係者とのネットワークの構築、新たな資源や支援の仕組みづくりを進めた。

対象者実人数	1人
プラン作成数	-

## 8. 生活支援コーディネーター設置

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行うことを目的に、生活支援コーディネーターを1名設置した。令和3年度より富山県介護予防促進事業を活用し、eスポーツ体験会を行った。

#### 《生活支援コーディネーター活動状況》

活動内容	(単位:回)		
	令和2年度	令和3年度	前年度比
①地域のニーズと資源の状況の見える化と問題提起に関する業務	39	22	56.4%
②地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけに関する業務	259	211	81.5%
③関係者のネットワーク化に関する業務	20	17	85.0%
④目指す地域の姿・方針の共有、意識統一に関する業務	23	26	113.0%
⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発に関する業務	7	27	385.7%
⑥その他関連する業務及び個別ケースの同行訪問等	128	164	128.1%

#### 《eスポーツ体験実施状況》

実施地区	(単位:名)			
	第1回	第2回	第3回	第4回
柳田地区	27	16	6	中止
久目地区	10	中止	中止	中止

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止・参加者の減少がみられた。

# 《ボランティア・市民活動分野》

## 9. 氷見市ボランティア総合センター事業

### (1) ボランティアコーディネーター事業

ボランティアの連絡調整・相談により、ボランティア活動への参加を促進し活動の振興を図った。

〈職員配置〉 ボランティアコーディネーター4人(所長含む)
〈開設状況〉 開館日: 年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日 開館時間 午前8時30分～午後10時
〈運営委員会〉 年2回開催 委員数12名

	令和3年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
相談状況	ケース数 合計	178	202	113%
	希望	60	48	80%
	依頼	55	66	120%
	相談	63	88	140%

※日常対応は含まない

### (2) ボランティアネットワーク事業

ボランティア活動者に限らず、ボランティアを推進(受け入れ側)している機関の登録を行い、情報を共有し、連携し合うことで、氷見市のボランティア活動の普及・充実を図った。

〈新規登録数〉	〈登録者総数〉	〈支援機関・支援施設登録数〉
個人 4人 団体 5団体(延36人)	個人 320人 団体 185団体(延7,585人)	支援機関 14機関 支援施設 20施設

### (3) ボランティア保険普及事業

ボランティア活動者が安心して活動できるための保険の加入受付事務を行った。

項目	令和2年度	令和3年度	前年度比
ボランティア活動保険加入者数	1,640	1,744	106%
ボランティア行事用保険加入件数	30	24	80%
ふれあいサロンの保険加入者数	4,814	5,914	123%
ボランティア活動保険適用件数	0	2	200%

保険の加入者は横ばいで、保険加入が必要な一定の活動者には周知が出来てきていると考えられる。今後も事故防止と事故時の保険適用についての周知を行う。

### (4) ボランティア情報発信事業

広報紙や各種メディアなどを通して氷見市民及びボランティア登録者へ情報を発信した。

・広報紙「ひみのふくし」への情報掲載 ・登録者への郵送・メールによる情報提供 ・行政チャンネル「ボランティアだより」を制作・放送 ・新聞各社へのボランティア情報の提供 ・SNSを活用した情報提供方法として①LINE、②Facebook、③Instagramの公式アカウントを9月に開設し、10月より運用を始めた。
--

### (5) 研修会への参加

職員の資質向上を目的に各種研修会に参加した。

・都城市社会福祉協議会 合同事例検討会(リモート)
---------------------------

## (6) 福祉教育推進事業

幼時からお年寄りまで、地域の中で共に生きる力を育成するために様々なプログラムを実施した。

事業名(テーマ)	開催日時	参加者数	内容(テーマ)
ボランティアチャレンジプログラム(V・C・P)	新型コロナウイルスのため中止		
出張ボランティアセンター	5月27日(木)13:10~14:00	39名	氷見市の福祉・ボランティアについて 対象:氷見高等学校生活福祉科生徒 会場:氷見高等学校
	8月25日(水)14:00~15:00	6名	視覚障害を知ろう 対象:とやまさんさん広場むすび 利用児童 会場:とやまさんさん広場むすび

## (7) 各種ボランティア講座・研修開催事業

ボランティア個人・団体等のニーズに合わせた各種講座・研修を開催した。

事業名	開催日時	参加者数(内訳)	内 容
テーマ型ボランティア育成講座	①9月25日(土) ②10月9日(土) ③10月30日(土) ④11月6日(土) ⑤11月27日(土) ⑥12月4日(土) 全て13:30-15:30	受講者7名(男2、女5)	氷見市では、音訳ボランティアグループなみの会が、視覚障害者へ生活に必要な情報を届けているが、会員の高齢化や会員減少に伴い、新たな会員の育成を行った。  ①オリエンテーション ②短文を読んでみよう ③どう伝える? ④正確な情報を伝える ⑤聞いてみよう ⑥録音技術を学ぼう 講師:①~⑤あゆみ会(富山市) 村口陽子氏 ⑥音訳ボランティアグループなみの会
出張ボランティアセンター(ボランティアイベント)	1月22日(土) 10:00~15:30 ハッピータウン氷見ショッピングセンター1階催事場	来場者約50名 高校生ボランティア 14名 一般ボランティア 7名 ボランティア団体 2団体 NPO法人 1団体	ボランティアのすそ野拡大のため、ボランティア活動・団体に関する情報やボランティア体験の提供、気軽に取り組める活動の紹介を行った。また、活動者や団体が交流する場や日頃の活動成果を披露する場を設けることで、活動に対する意欲を高め、今後の市内ボランティアの活性化を図ることを目的に実施した。  ①ボランティアを知る:ボランティア相談 ②ボランティアにふれる:脳トレ体験 ③ボランティアに参加する:収集整理ボランティア体験、収集物・保存食受付等 b-らいふキッチンカーも参加

(8) 遊休品バンク「Eくすちやー・Eかすちやー」の実施

市民や団体等からの生活物品の寄付を受付、生活困窮者や災害被災者等の緊急的に支援が必要な対象者に必要な物資を提供した。

寄付(Eくすちやー)		
項目	令和2年度	令和3年度
受付物品等合計	525	384
受付物品	470	180
食品	55	204
受付不可物品等	10	4

受付物品の内訳

冷蔵庫、洗濯機、下着、布団、タオル、暖房器具、米、レトルト食品、缶詰等
-------------------------------------

提供(Eかすちやー)		
項目	令和2年度	令和3年度
提供物品等合計	306	166
物品(貸し出し含む)	255	49
食品	51	117
提供不可(延)	2	0

提供物品の内訳

洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、暖房機器、タオル、布団、下着、乾麺、アルファ米、レトルト食品等
---

(9) その他の関連事業

センターとしてその他継続事業を実施した。

事業名	開催日時	参加者数等
施設ボランティア担当者連絡会	7月29日(木)	出席施設:9施設、11名(リモート参加者 5名) アンケート回答率:50/71施設(70%)
災害救援ボランティア整備事業	①4月1日~3月31日 ②4月20日(火)	①災害救援ボランティアセンターの設置に備えた関係機関との情報共有、センター備品の整備 ②氷見市災害ボランティアセンターの設置等に関する協定(氷見市地域防災課)
ボランティア寄付金の受付	通年	3件

### Ⅲ こども支援課

#### 1. ファミリー・サポート・センター

##### (1) 会員の状況

###### ① 依頼会員数

	令和2年度	令和3年度	前年比
依頼会員数	899人	879人	98%

###### ② 協力会員数

	令和2年度	令和3年度	前年比
協力会員数	17人	15人	88%

##### 令和3年度

エリア	協力会員数	依頼会員数
氷見	9	283
南條	3	368
上庄谷	3	99
灘浦	0	62
市外在住登録者	0	67
合計	15	879

##### (2) 利用状況

###### ① 場所別

	令和2年度	令和3年度	前年比
こども館 きらら	176	202	115%
ヘルパー宅	0	0	0%
利用者宅	0	0	0%
その他	6	7	117%
合計	182件	209件	115%

###### ② 理由別

利用理由	きらら	ヘルパー宅	利用者宅	その他	合計
・保育施設の保育開始前の預かり					0
・保育施設の保育終了後の預かり					0
・保育施設までの送迎	63				63
・放課後児童クラブ終了後の預かり					0
・学校の放課後の預かり					0
・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の預かり	8				8
・買い物等外出の際の預かり	41				41
・兄弟姉妹の病気時の預かり	6				6
・兄弟姉妹の習い事時の預かり	0				0
・保護者の短時間・臨時的就労時の預かり	71			7	78
・保護者の求職活動中の預かり	3				3
・産前産後の安静時の預かり	5				5
・保護者の体調不良時の預かり	5				5
延べ利用者数	202	0	0	7	209

上記預かり状況内の病児・緊急対応強化事業による預かり	きらら	ヘルパー宅	利用者宅	その他	合計
* 回復期にある子どもの預かり					0
* 早朝(8:00以前)、夜間(18:00以降)の緊急預かり	2				2

##### (3) 情報提供

・広報誌「氷見の福祉」への情報掲載、各保育園・病院・市役所・各行政機関等へのチラシの掲示、配布

#### 2. 事業所内保育所事業

・事業所の従業員の、仕事と子育ての両立を支援するために乳幼児の保育を行った。  
 ・様々な状況に合わせた保育の場を確保するため、地域の保育を必要とする乳幼児の保育を行った。

##### (1) 事業の概要

施設の種類	事業所内保育所	
施設の名称	こども館きらら	
施設の所在地	氷見市鞍川975番地	
対象児童	児童福祉法及び子ども・子育て支援法の定めるところにより、保育を必要とする概ね0歳～2歳の児童	
利用定員	満2歳の児童	3人(うち地域枠2人)
	満1歳の児童	3人(うち地域枠2人)
	乳児	6人(うち地域枠4人)
開所日・時間	月曜日から土曜日まで(日曜、祝日は休所) 7時30分～18時30分	

##### (2) 利用状況(月初め入所児童数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2
1歳児	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
計	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	6	6

### 3. 氷見市児童館

#### (1) 氷見市児童館事業

様々な遊びや体験活動を提供することで、子どもたちの健やかな成長を支援した。  
定例行事の他、子どもたちと地域が結びつくことのできる行事を多く取り入れるなど、異世代交流にも力を入れた。

事業名	活動内容	協力者	開催回数	延参加者数
書き方教室	硬筆書写の上達を目的に実施した。	硬筆講師	11回	107人
将棋教室	将棋の基本を学んだ。	将棋講師	9回	37人
創作教室	竹や紙を素材とした工作活動を実施した。	氷見市児童クラブ連盟	9回	59人
お茶教室	日本古来の伝統文化に触れ、基本的な作法を習得した。	茶道講師	9回	20人

#### 年間行事

事業名	活動内容	協力者	開催回数	延参加者数
地域ボランティア推進事業	サバイバル体験教室	児童支援ボランティア	1回	10人
	地域体験活動(釣り体験)	児童支援ボランティア	3回	45人

#### 地域子育て活動支援

事業名	活動内容	協力者	開催回数
出張児童館	地域の拠点において、様々な遊びのプログラムを提供	登録ボランティア	8回
こどもホームデリ	新型コロナウイルス感染症の影響で、経済的に困窮している家庭への、食材支援。(8月～12月)	児童支援ボランティア	5回
こども食堂支援	ひみキトキトこども食堂ネットワーク事務局 こども食堂の周知、活動支援	各こども食堂スタッフ等	12回

#### 児童館利用状況

(人)

	令和2年度	令和3年度	前年度比
幼児	1,094	527	48%
児童	7,004	7,605	109%
生徒	156	48	31%
大人	1,429	793	55%
合計	9,683	8,973	93%
開設日数	359日	359日	

#### (2) 放課後児童対策事業

昼間保護者のいない家庭の児童を対象に、児童の保護や健全育成の向上を図るため、氷見市児童館の1室を利用して、保護者が帰宅するまでの間、指導員により、学習指導や遊び等を通して健全育成活動を行った。

対象児童	日中家に保護者のいない東地区の1年生～3年生(定員45名)、4年生～6年生(定員25名) ※H27年度より、2つの学童保育を実施・・・1～3年生(ファン)、4～6年生(ジャンプ)		
開設時間	月曜日から金曜日 … 午後2時～午後10時	土・日・祝日 …	午前8時～午後8時
開設日数	平日 206日	土・日・祝日	153日

学年別登録者数	ファン				ジャンプ			
	1年生	2年生	3年生	合計	4年生	5年生	6年生	合計
	10人	16人	12人	38人	9人	3人	1人	13人

延利用者数	令和2年度	令和3年度	前年度比
	6,030	7,054	117%

活動内容	自主性・社会性・創造性の向上を図るため、遊びを中心とする活動の支援 ・読書 ・遊具を使った遊び ・軽運動 ・工作 ・異年齢交流活動(囲碁・将棋)等 ①遊びを通しての生活指導、健康管理と安全確保、小学校との情報交換会の実施 ②児童の活動状況の把握と家庭への連絡、親子活動の実施等 * 活動場所…児童館(ITワールド、こどもの城、工作室)・いきいきサロン、アリーナネット遊具、屋外運動広場
------	--

#### (3) 子育て支援スタッフ育成・発掘事業

地域ぐるみで子育てしやすい環境を作るため、子育て支援現任者や、子育てに関心のある者等を対象とした研修を実施することとて、地域における多様な子育て支援の充実を図った。(子育て家族応援講座:7講座延べ120人参加)

#### (4) 学習・生活支援事業

貧困の連鎖を防止するため、ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯等の子どもに対し、学習・生活援助を推進することを目的とし、該当世帯の子どもに対する学習・生活支援を行った。また、支援が必要な子どもや家庭に適切な支援が届くよう、関係機関とのネットワーク構築を図った。

事業名	活動内容	参加者数
D.Dスマイル塾	学習・生活支援の場を設け、週1回実施した。その際、「学習支援員」と生活支援を含めた学習のサポートをする「サポーター」を配置した。	25人(延764人)
お楽しみ交流会	調理体験等	35人



## IV 高齢者支援課

### 1. 居宅介護支援事業

介護認定を受けられた方が、安心して自宅で生活できるよう、介護支援専門員が介護サービスの調整や相談に対応した。(介護支援専門員 5人)

#### (1) ケアマネジメント延件数

年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
延利用件数	1,633	1,645	100%
実人数	200	208	104%
新規件数	38	43	113%
中止件数	35	37	105%

#### (2) 要介護度別延べ利用者数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延べ人数	9	47	545	378	357	204	105	1,645
構成比(%)	1%	3%	33%	23%	22%	12%	6%	100%

### 令和3年度

ヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助など、本人の意欲や能力を引き出しながら日常生活を支援した。(提供責任者 4人 登録ヘルパー15人)

#### (1) 要介護度別利用者数

	実利用者数		令和3年度 構成比	前年度比
	令和2年度	令和3年度		
要支援1	18人	21人	8%	116%
要支援2	30人	32人	13%	106%
要介護1	33人	44人	18%	133%
要介護2	28人	38人	15%	135%
要介護3	40人	46人	18%	115%
要介護4	29人	43人	17%	148%
要介護5	17人	26人	10%	152%
合計	195人	250人	99%	128%

#### (2) 業務内容別集計 (利用回数)

	利用回数		前年度比
	令和2年度	令和3年度	
身体介護中心	4,622	4,970	108%
生活援助中心	2,958	3,133	106%
身体生活	2,193	1,152	53%
通院等乗降介助	499	850	170%
合計	10,272	10,105	98%

### 3. 訪問入浴介護サービス

特殊浴槽車が自宅に赴き、自宅での入浴機会を提供した。(看護師2人、介護員5人、運転手3人)

#### (1) 要介護度別利用者数

区分	令和2年度	令和3年度
	実利用人数	実利用人数
要支援2	0	0
要介護1	4	1
要介護2	2	2
要介護3	3	6
要介護4	6	8
要介護5	6	9
合計	21	26

#### (2) 述べ利用実績

令和2年度	498回
令和3年度	520回
前年度比	104%

### 4. 通所介護事業(老人福祉センター)

軽度者を対象とした寿養荘内のデイサービスセンターで、介護予防、自立支援などの目的を持ってサービスを行った。(事業管理者1人、看護師2人、生活指導員2人、介護員3人)

#### (1) 実利用者数・延利用者数

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実利用者数	43人	46人	106%
延利用者数	2915人	2547人	87%

#### (2) 要介護度別利用者数

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	0	1	0	1	0	0	3
女性	10	7	15	8	1	2	0	43
合計	11	7	16	8	2	2	0	46
構成比	24%	15%	35%	18%	4%	4%	0%	100%

### 5. 福祉用具貸与事業

特殊寝台や床ずれ予防マットなど12種類の福祉用具を貸与した。(福祉用具専門相談員 2人)

利用状況

サービス種別	延べ利用者数		前年度比
	令和2年度	令和3年度	
介護保険対象者	829人	733人	88%
介護予防対象者	60人	55人	92%
社協福祉サービス	666人	644人	97%
合計	1555人	1432人	92%

### 6. 日常生活金銭管理サービス

ヘルパーを利用している方の買い物代金の預かりなど日常生活に必要な金銭管理を行った。(社協独自サービス)

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実利用者数	23人	15人	65%

## 7. ひみサンテ(グループリビング)

寿養荘2階で自宅で生活できない低所得の一人暮らしや高齢者世帯の方の共同生活をスタッフの見守りのもと行った。

利用状況

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実利用者数	11人	8人	73%

## 8. ほっとヘルプサービス事業

介護保険の訪問介護サービスを適用できない方が対象。コロナ禍の中、入院中の援助の依頼が無くなり利用が無かった。

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実利用者数	10人	0人	0%

## 9. 障害者ホームヘルプサービス

在宅の障害者にヘルパーが訪問し、日常生活を支援した。

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実利用者数	17人	14人	82%
利用日数	1432日	951日	66%
延利用回数	1487回	901回	61%

## 10. 障害者訪問入浴サービス

在宅の障害者に自宅での入浴の機会を提供した。

	令和2年度	令和3年度	前年度比
実利用者数	1人	2人	200%
利用日数	17回	21回	124%

## V 障害者支援課

### 1. 障害者福祉センター

#### (1) 障害者総合相談

##### ① 年度別相談件数

	令和2年度	令和3年度	前年度比
身体障害者	234	72	31%
知的障害者	213	94	44%
精神障害者	386	507	131%
その他	0	20	
年度合計	833	693	83%

##### ② 内容別相談内訳

内容	令和2年度	令和3年度	前年度比
福祉サービス利用に関すること	165	12	7%
障害や病状の理解に関すること	153	43	28%
健康・医療に関すること	63	12	19%
不安の解消・情緒安定に関すること	175	315	180%
保育・教育に関すること	70	1	1%
家族関係・人間関係に関すること	38	248	653%
家計・経済に関すること	27	14	52%
生活技術に関すること	77	12	16%
就労に関すること	47	2	4%
社会参加・余暇活動	9	22	244%
権利擁護	9	12	100%
その他	0	0	
合計	831	693	83%

##### ③ 計画相談支援

	令和2年度	令和3年度	前年度比
サービス利用・継続支援 (初めてサービスを利用する方の計画相談)	9	9	100%
サービス継続支援 (サービス利用のモニタリング)	21	28	133%
サービス利用支援 (サービスを変更したい方のための計画相談)	7	3	43%
合計	37	40	108%

#### 令和3年度

#### (2) 障害区分認定調査

##### 障害区分認定調査実人数

	令和2年度	令和3年度	前年度比
施設入所者	11	7	64%
在宅者	19	6	32%
合計	30	13	43%

#### (3) デイサービス

##### サービス別利用内訳

	実利用人数			延利用回数		
	令和2年度	令和3年度	前年度比	令和2年度	令和3年度	前年度比
通所介護	21	18	85%	1,495	1,214	81%
障害者デイ	14	12	85%	1,314	1,004	76%
障害児デイ	9	7	77%	746	590	79%
通所入浴	2	0	0%	37	0	0%
障害児通所入浴	4	3	75%	218	164	75%
合計	50	40	80%	3,810	2,972	76%

\* (3)と(4)で実人数に相違が出ているのは、介護の場合、年度内に介護度が変わった場合どちらもカウントしているため障害の場合、自立訓練のサービスのみを利用している場合、区分認定の必要がないためである。

#### (4) 介護度、障害区分別利用内訳

区分	実利用人数			延利用回数		
	令和2年度	令和3年度	前年度比	令和2年度	令和3年度	前年度比
要支援1	1	1	100%	51	41	80%
要支援2	3	2	66%	124	22	17%
要介護1	5	3	60%	352	294	83%
要介護2	3	4	133%	239	275	115%
要介護3	3	4	133%	494	460	93%
要介護4	2	2	100%	135	24	17%
要介護5	3	2	66%	100	98	98%
介護合計	20	18	90%	1,495	1,214	81%
障害区分1	0	0		0	0	
障害区分2	3	2	66%	251	181	72%
障害区分3	3	2	66%	159	129	81%
障害区分4	3	2	66%	200	43	21%
障害区分5	1	2	200%	150	172	146%
障害区分6	3	4	133%	493	479	97%
障害合計	13	12	92%	1,253	1,004	80%
総合計	33	30	91%	2,748	2,218	81%

## VI. ふくし相談サポートセンター

### 1. ふくし相談サポートセンターの運営

市庁舎内において、福祉介護課・子育て支援課・市社協が官民協働で行う福祉の総合相談支援窓口として、各課の申請や相談窓口で対応しつつ、「どこに相談すればよいかわからない」「制度を活用できない」「重複する生活課題を抱えている」などの相談を市社協が対応した。

#### (1) 相談件数実績

		令和2年度	令和3年度	前年度比
新規相談件数		343	202	59%
相談経路	当事者	135	76	38%*
	家族	33	25	12%*
	知人	5	5	3%*
	地域	33	13	6%*
	専門機関	76	44	22%*
	行政	61	39	19%*
相談実件数		692	818	118%
支援内訳	電話	2,427	1,908	79%
	訪問	1,085	1,020	94%
	来館	1,018	798	78%
	その他	3,656	3,184	87%
延支援回数		8,186	6,910	84%
主訴終結ケース		204	70	34%
主訴終結割合		29%	9%	31%

\* 相談経路のみ、相談件数に占める割合

#### (2) 相談内容内訳

主な相談内容(重複有)	令和2年度	令和3年度	前年度比
病気や健康、障害のこと	87	69	79%
住まいについて	16	19	119%
収入・生活費のこと	167	49	29%
家賃やローンの支払いのこと	28	6	21%
税金や公共料金等の支払いのこと	11	10	91%
債務について	5	2	40%
仕事探し、就職について	32	12	38%
仕事上の不安やトラブル	5	2	40%
地域との関係のこと	21	12	57%
家族関係・人間関係	23	21	91%
子育て・介護のこと	26	17	65%
ひきこもり・不登校	10	19	190%
DV・虐待	3	5	167%
食べるものがない	2	3	150%
その他	161	101	63%

### 2. 基幹相談支援事業

障害分野における相談支援事業所の個別支援計画作成支援や困難ケースへのアドバイス及び介入をはじめ、人材育成・各機関とのネットワークづくり等市内の障害に関する環境整備を行った。

#### (1) 相談件数及び内容実績

	令和2年度	令和3年度	前年度比
相談件数	80	53	66%
延支援回数	3,476	3,487	100%
病気や健康、障害のこと	48	37	77%
住まいについて	1	9	900%
収入・生活費のこと	17	13	76%
家賃やローンの支払いのこと	3	1	33%
税金や公共料金等の支払いのこと	3	2	67%
債務について	2	0	0%
仕事探し、就職について	21	11	52%
仕事上の不安やトラブル	3	1	33%
地域との関係のこと	3	5	167%
家族関係・人間関係	9	12	133%
子育て・介護のこと	12	3	25%
ひきこもり・不登校	5	6	120%
DV・虐待	2	3	150%
食べるものがない	0	1	
その他	26	13	50%

#### (2) 障害種別による相談件数

	精神	知的	身体	重複	難病	児童	不明
実人数	22(41)	10(10)	4(5)	1(0)	1(2)	5(7)	10(15)
構成比	41.0%	19.0%	8.0%	2.0%	2.0%	9.0%	19.0%

( )内数字は、

#### (3) 各種会議(部会)の運営

関係機関との情報共有を行い、氷見市における障害者支援のネットワークづくり、サービスの開発・強化について会議を行った。

会議・部会名	主な内容
氷見市相談支援事業所連絡会(全11回)	日頃の相談業務で困難な事例についてアイデアを出し合い、氷見市に足りない支援について検討する。事例検討10回、研修会の情報提供などを行った。
就労支援連絡会(全5回)	事例検討、施設見学を通して、資質向上、情報共有を図った。また、障害者を雇用する企業の方との座談会を相談支援事業所連絡会と合同で開催。
氷見市障害者サービス調整会議(全3回)	事例を通し、サービス利用についてや必要な事業について検討した。新規事業所の紹介をしつつ、事業所の支援を行った。関係機関の現状や課題を協議した。

#### (4) 居場所づくり

事業名	主な内容
リカバリーカフェ	ピア・フレンズ(精神疾患を持ちながら地域の仲間を支える)が主体的に場を運営し、相談にのったり、テーマに沿った研修を企画した。年2回 毎回約20人参加。
レターカフェ	新型コロナウイルスの影響により、リカバリーカフェの中止。「コロナ禍でもつながりを持てられないか」と模索し、ピアフレンズのアイデアから「Letter Café」発刊。年5回、300部発行。

#### (5) 各種研修会など

事業名	実施日	講師・シンポジスト	主な内容
障害のある人もない人も共に生きるまちづくりフォーラム	新型コロナウイルスの影響により開催せず。		
発達障害を理解する7days	9/6~11/29の期間中 7日間	山口 久美 氏 (有)SNOW DREAM 代表 NPO法人 ふわり等 スーパーバイザー	保健、医療、福祉(障害・保育)関係者、20名参加し、発達障害・自閉症スペクトラム障害のある方の理解を深める目的で7日間の研修を行った(5期目)。

### 3. 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年4月から施行された「生活困窮者自立支援制度」に基づき、経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯を対象に、相談支援業務を担当し、従来の福祉分野を越えた多職種で支援するためのマッチング及び就労に向けた環境整備等を行った。

#### 相談件数等実績

		令和2年度	令和3年度	前年度比
新規相談件数		283	168	59%
延支援回数		6,298	5,321	84%
ケアプラン作成		16	15	94%
支援調整会議の開催		3	4	133%
就労支援		47	29	62%
緊急食糧支援		113	57	50%
主な連携件数	住居確保付金相談	28	6	21%
	貸付相談	187	101	54%
	生活保護相談連携	17	17	100%
主訴終結件数		38	37	97%

### 4. 家計改善支援事業

収入(賃金や公的年金等)と支出のバランスが崩れることによって、様々な生活課題を抱えている生活困窮世帯等を対象に、家計状況を整理するなど、収入と支出のバランスが保たれるよう支援を行い、関係する生活課題の解決を図った。

(主な取り組み)

主な内容及び成果	令和2年度	令和3年度	前年度比
生活困窮者家計相談者数	171	100	58%
同家計支援者数	4	5	125%
延支援回数	273	274	100%
生活福祉資金貸付相談者数	187	101	54%
同貸付支援者数	156	62	

### 5. 生活困窮者等緊急生活支援事業

生活困窮者や緊急的な支援が必要な世帯を対象とし、必要最小限の食料品や衣類等生活用品の提供、住まいの応急的な補修・環境整備に要する資材の提供等、衣食住に対する支援に備えた。

	令和2年度	令和3年度
支援者数	0	0

## 6 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

多機関協働マネージャーを配置し、対象を限定せずすべての市民の福祉に関わる相談に対応すると共に、地域や包括的相談事業（地域包括支援センター、困窮、基幹、子育て世代包括支援センター等）が把握した「社会的孤立者」等の支援について、地域、専門職、行政が円滑に連携し支援できるようコーディネートを行った。また、重層的支援会議等、各種会議を通して支援体制の強化に関する取り組みを行った。

### (1) 相談件数実績

相談件数	23	
相談経路	当事者	1
	家族	2
	知人	0
	地域	3
	専門機関	12
	行政	4
令和3年度	医療機関	1
	電話	109
	訪問	59
	来館	65
	その他	38
述べ支援回数	271	

### (2) セーフティネット関係会議への参画、研修参加

※令和3年度においては新型コロナウイルス感染拡大予防のため、研修及び視察研修を見送った

会議名	開催回数	内容
地域会議	9地区9回	地区社協や民生委員児童委員の地区定例会等に訪問し、地区内で挙がっている個別相談事例を共有し、支援方法について検討などを行った。
重層的支援会議	定例会議:12回 個別支援会議:0回	市関係課職員及び市社協職員で構成し、庁内連携をスムーズに行うための情報共有や相談支援事例をとおして連携体制のルールやセーフティネット構想の実現に向け協議・検討した。
分科会	5回	第4次氷見市地域福祉計画策定にあたり、既存の各種制度や取り組みの見直し等を行い、今後5年間の方向性、新たなサービスや取り組みなどの社会資源の開発について協議、検討を行った。
地域セーフティネット構築会議	1回	地域、専門機関、ボランティア団体等で構成し、氷見市における社会的に陥っている方(陥る可能性のある方)を早期に発見する仕組みなどの実現に向けた取組について検討した。
個別支援会議	29回 (19人)	個別支援における検討が必要な事案に対して、関係者を召集し、対応策の検討及び役割分担を行い、関係機関内で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワーク形成を図った。

## 7. アウトリーチ等の充実による自立相談支援の機能強化事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

アウトリーチ支援員を2名配置し、訪問支援機能を高めるとともに、地域や行政・専門機関と連携し、社会的孤立状態に陥っている(陥る可能性のある人を含む)人・世帯への支援を円滑に進めた。

### (1) 相談件数実績

	令和2年度	令和3年度	前年度比	
新規相談件数	73	38	52%	
相談経路	当事者	15	9	60%
	家族	4	8	200%
	地域	24	4	17%
	知人	1	1	100%
	行政	16	8	50%
	包括プランチ	2	0	0%
	介護支援専門員	2	3	150%
	医療機関	1	1	100%
	障害関連機関	2	1	50%
	県社協	1	0	0%
	市社協	5	1	20%
	その他	0	2	

### (2) 相談内容内訳

主な相談内容(重複有)	令和2年度	令和3年度	前年度比
相談内容総数	111	85	77%
病気や健康、障害のこと	19	18	95%
住まいについて	8	5	63%
収入・生活費のこと	15	11	73%
税金や公共料金等の支払いのこと	2	2	100%
虐待・DV(疑い含む)	0	2	
家賃・ローンについて	2	2	100%
債務について	0	2	
仕事探し、就職について	4	2	50%
仕事上の不安やトラブル	1	1	100%
地域との関係のこと	17	5	29%
家族関係・人間関係	5	10	200%
子育て・介護のこと	9	4	44%
ひきこもり・不登校	1	6	600%
食べるものがない	0	1	
その他	28	14	50%

初回相談時の主な相談内容が  
 ・1つの相談...13件  
 ・2つの相談...12件  
 ・3つの相談... 8件  
 ・4つの相談... 3件  
 ・5つの相談... 1件  
 ・7つの相談... 1件  
 ※相談者(世帯)の約7割が複合する課題(悩み)を持っている。

### (3) 地域福祉活動サポーターの活動状況(令和3年4月～令和4年3月)

①地域福祉活動サポーター数 127人

②相談を受けた実人数 上期53人下期58人

③相談・情報提供の件数 上期114件下期120件

相談内容	件数	割合
高齢者(介護)に関すること	21	8%
高齢者(認知症・生活面)に関すること	92	35%
障害に関すること	21	8%
児童・生徒に関すること	1	0%
家族関係に関すること	12	5%
地域・近隣関係に関すること	33	13%
暮らしに関すること	40	15%
ひきこもりに関すること	3	1%
その他	40	15%

対応内容	件数	割合
話を聞くことで済んだ	145	53%
地区社協で対応した	16	6%
民生委員の協力を得て対応した	60	22%
自治会の協力を得て対応した	32	11%
サポセンへ相談・情報提供した	11	4%
サポセン以外へ相談	11	4%
相談した専門職・機関		
	市地域包括支援センター、 包括プランチ、ヘルパー、 警察、駐在所	

### ④地区社協等における地域福祉活動参加状況

内容	人数	割合
ケアネット活動の協力	154	24%
なんでも相談会の協力	39	6%
ふれあいランチなど高齢者の集いの場の協力	64	10%
配食やいのちのバトンの配布など	105	16%
個別訪問活動の協力		
きときと100歳体操(地区社協主催)の協力	61	9%
子育てサークルなど、子育て支援	39	6%
住民の集いの場(サロン活動)	48	7%
その他(会合出席、マップ作成等)の活動	144	22%

《福祉サービス利用支援》  
10. 日常生活自立支援事業

		令和2年度	令和3年度	前年度比
問合せ件数		6	6	100%
初期相談件数		5	3	60%
相談援助件数		525	566	108%
契約締結件数	前年度末利用者数	12	14	117%
	新規契約者件数	3	3	100%
	契約終了者件数	1	4	400%
	年度末利用者数	14	13	93%
生活支援員	登録者数	7	7	100%
	延活動回数	175	201	115%

11. 生活福祉資金貸付制度

(1) 本則における相談実績

		令和2年度	令和3年度	前年度比
相談実人数		15	21	140%
相談延回数		33	53	161%
貸付申請件数		1	1	100%
貸付決定件数		1	1	100%
貸付不承認件数		0	0	
貸付決定内訳		福祉資金1件 (緊急小口資金)	福祉資金1件 (福祉費)	

(2) 新型コロナウイルス感染症における特例貸付の相談実績

相談実人数	72人
-------	-----

相談延回数	201回
-------	------

	申請件数		前年度比	備考
	令和2年度	令和3年度		
緊急小口資金	130	31	24%	・令和3年度は不承認1件あり
総合支援資金	46	16	35%	
総合支援資金【延長】	5	1	20%	・申請受付は令和3年6月23日で終了
総合支援資金【再貸付】	2	15	750%	申請受付は令和3年12月末日で終了 ・令和3年度は不承認2件あり
合計	183	63	34%	

	決定金額(単位:万円)		備考
	令和2年度	令和3年度	
緊急小口資金	2,163	535	
総合支援資金	2,415	805	
総合支援資金【延長】	186	45	申請受付は令和3年6月23日で終了
総合支援資金【再貸付】	50	660	申請受付は令和3年12月末日で終了
合計	4,814	2,045	

## Ⅶ. 施設管理(指定管理者制度)

### 1. 寿養荘の運営・管理

利用者状況

	令和2年度	令和3年度	前年度比
利用者数	4,944人	6,162人	125%

### 2. いきいき元気館の運営・管理

利用者状況

令和3年度		令和2年度	令和3年度	前年度比
ホール	件数	91	108	119%
	人数	4,560	4,233	93%
大会議室	件数	310	332	107%
	人数	4,221	4,360	103%
小会議室	件数	734	777	106%
	人数	5,406	5,890	109%
トレーニングルーム	人数	0	0	—
来館者数	人数	46,710	29,887	64%

※新型コロナワクチン接種会場のため、閉鎖中